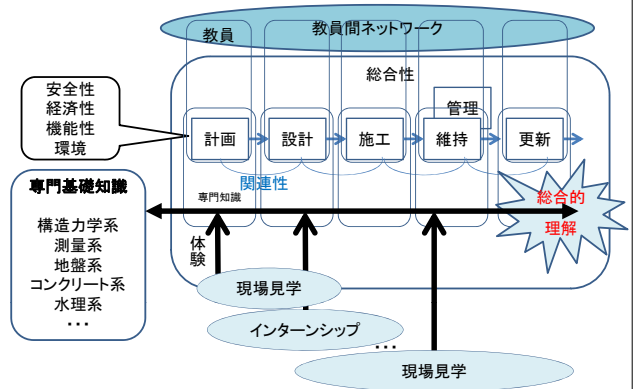


土木工学教育におけるアクティブ・ラーニングの事例研究
**講義科目での対話学修を目指した
 予習・復習サイクル**

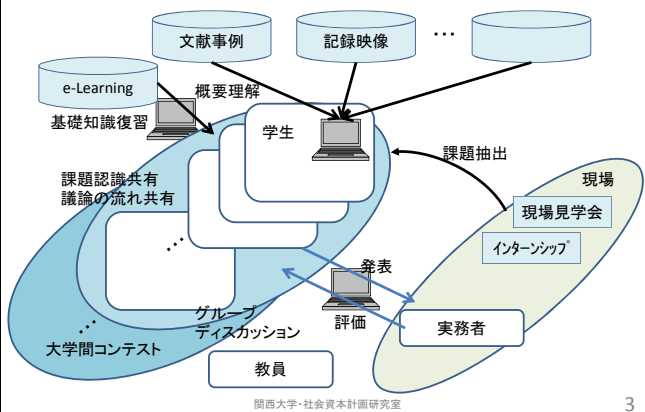
平成26年9月6日
 東京都市大学世田谷キャンパス

関西大学 北詰 恵一

授業の仕組み



授業にICTを活用したシナリオ



その一部の実施例として『都市地域計画』

- ・ 社会基盤事業の中では「計画」にあたる段階の学び
- ・ e-Learning による予習 (概要理解)
- ・ 一般教室における講義形式の授業
 ノートテイクによる重要項目の授業とノート技術向上
- ・ e-Learning による復習 (基礎知識復習)
 + 基礎的技術用語の英単語の理解
- ・ 文献(事例)による計画の理解・自分の意見のレポート
 記録映像による予習→そのテーマでの授業
 →授業とレポートをもとにグループディスカッション
- ・ (予定) 授業後夏休み インターンシップ

本授業の到達目標

3年次春学期 選択科目

- ① 地域および都市計画の専門基礎知識を習得すること
- ② それらが社会と密接に関連しながら影響を及ぼしていることについて、適切に収集した情報に基づき、住民の視点を踏まえて自分の意見として述べるができること
- ③ 英語で記述された専門分野における用語・知識・考え方をその内容まで理解し、解説し、レポートできること

授業内容

1. 地域と地域計画、都市と都市計画
2. 都市の歴史と現在の都市計画の実際
3. 計画のための法制度、調査および分析手法
4. 土地利用計画
5. 都市施設計画
6. 市街地開発事業
7. 都市景観の保全
8. コミュニティを題材にした住民参加と協働
9. 全国総合開発計画と国土形成計画
10. 地方別・規模別の地域問題
11. 産業振興政策
12. 地域連携と幹線交通網整備
13. 地域防災計画
14. 地域環境計画
15. 財政と社会基盤整備・評価制度
16. 定期試験

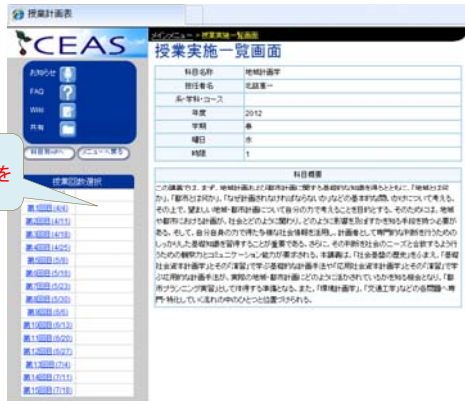
講義の進め方

- ・パワーポイント、板書併用型
- ・CEAS利用・予習用事前pdfファイル
・復習用事後テスト
- ・出席は下記ノートテイクで代用
- ・授業中に課すノートテイク(5%の重み)
- ・CEASのテスト(15%の重み)
- ・レポート(2回)(20%の重み)
- ・定期試験(60%の重み)
- ・オフィスアワー:メールで日程調整
メール可 kitazume@kansai-u.ac.jp
- ・教科書:加藤晃・竹内伝史編著
『新・都市計画概論』

授業支援型e-Learningシステム(CEAS)利用



予習資料のダウンロード



ここに
予習用資料を
アップ

予習資料の例

日本の世界銀行からの借款

空欄

- ・借款を完済したのは 7月
- ・1957年から1966年の13年間に、
31件、総額8億6,290万ドル
- ・
- 等

予習の指針

前週の授業の最後に、予習の指針を示し、CEASにも掲載

次週:コミュニティを題材にした住民参加と協働

1. コミュニティには、2種類あると言われている
・地縁型コミュニティ と もうひとつは何だろう
・型コミュニティ
2. この2つのコミュニティの長所・短所は?
3. これからのコミュニティはどうあるべきか?

調べる
課題

考える
課題

ノートテイクの用紙

- ・講義の当該箇所配布
- ・口頭で説明、
手でノートを取らせる
- ・予習の結果を記載、
発展学習のきっかけを書かせる
- ・出席の代わりにする旨伝えてある
- ・5点満点で採点し、
発展学習のきっかけには答えて返却



復習テスト

復習テストの結果(例)



レポート課題例(平成26年度)

課題: 英文 "A Review of Highway Agencies in the South Asia Region" のうち、学番号偶数の学生は、"International Case Studies; South Africa" 学番号奇数の学生は、"International Case Studies; Australia(New South Wales)" をそれぞれ読み、
 ・他の英語文献で関連する情報を調べ(出所は明確に!)
 ・今後の世界の道路整備のあり方について、自分の意見を述べよ。
 なお、レポートは日本語で簡潔に文章化して3,000字程度でまとめること。図表等は、それ以外に適切に加えてよいが、A4の紙3枚(この採点票含む)に収めよ。
 作成方法: Microsoft Word (ver.は問わない)で作成し、1ページ目にこの採点票をつけ、2~3ページ目に本文を書くこと。このファイルを用いて、そのまま書き始めればよい。写真、絵、図表等は、必ずこのファイル内に埋め込むように。

	採点項目	点数
基礎知識・学力	関連する基礎知識・学力に基づいて書かれている。 基礎知識・学力を、現実の課題に繋げることができる。	
情報収集能力	適切な情報(英語文献)収集手段を用いている。 得られる情報(英語文献)を十分に理解して書いている。	
観察力	道路の現状をよく観察・把握している。 公的な視点から、現状を捉え・理解できる。	
独自性	自分の意見を豊富に盛り込んでいる。 自分の意見の主張に説得力がある。	
論理性	パラグラフにおいて、論理が飛躍せず理解できる。 散文調ではなく、論文としての構成を持っている。	
合計		/10

記録映像を用いた予習(予定)

12. 地域連携と幹線交通網整備 において、世界銀行の日本への融資について講義する予定

<http://worldbank.or.jp/31project/introduction/index.html#U5dMc6iCipo> 14:22のビデオ
 テーマ: 日本が世界銀行から受けた31のプロジェクトとは?



前週の授業の最後に示す予習の指針

1. 日本は世界銀行からいくら借款し、いつ完済したか。
2. それによって作られた社会基盤は、どのような役割を果たしたか。
3. 今後、日本は発展途上国の社会基盤整備に、どのような役割を果たすべきか。



ワトキンス調査団

「工業国にしてこれほど完全にその道路網を無視した国は日本のほかにない」と指摘したワトキンス調査団

世界銀行(国際復興開発銀行) ワトキンスレポート(Watkins's Report IBRD)
 The Roads of Japan are incredibly bad. No other industrial country has so completely neglected its highway system.

日本の世界銀行からの借款

- ・借款を完済したのは1990年7月
- ・1957年から1966年の13年間に、31件、総額8億6290万ドル
- ・名神高速道路、東名高速道路、東海道新幹線、黒部第4ダム等 日本を支えた主要インフラ事業



・今後の世界の社会基盤を構築する上で日本の役割は?

